

2024
R 6
8/26
朝
375-

右馬先ひなよ王

お盆明けは とたんに 秋の気配が漂う朝を迎えるのが 常でしたが 今年は 畏え知らずの 夏の暑さがそのまま 居座り 直は もちろん 夜もエアコンをつけて… これでは 増す増す世の中暑くなってしまうな、と思いつから日々でした。 台風の号の雨でようやく暑さが収まつたかなと思える今朝です。 二階の窓から見えるとみじの葉が黄葉しているのを見しつづくりした朝であります。 秋が密やかに来っていました。 すすき、音赤紅は早くから咲いています。 八重の秋明菊が咲きはじめ 夏を追いやろうとしている感じです。

気力が無くなり草を取る元気が無くなつた私は この2ヶ月 88才で亡くなられた 小澤征爾さんの セイジ・オガワ松本フュス(OMF)での 松本に滞在された日々の写真展を見に行ってきました。 1989年 征爾さんハロストロボウ時代と大劇場にキャラバン隊を引き連れて大劇場の歌舞伎の舞台下/日3回の演奏をして下さったのは 54才のバリバリの征爾さんでした。 くつろぐ食事時の小澤さんはとても魅力いっぱいの笑顔で浴衣ひとつで

似合って素敵でした。 「野球」、それは打ち、マレットゴルフステンレスの合間に樂しまれた 地域交流場面の多良は全て全力投球、燃えるセイジ! いつもそこには居ますくつろぐ時は 浴衣、無造作に着ているその嗜好がなんど褒められて 生きてから、いつも征爾さんにお会いしていきょうり気持ちでした。 映像を遙観して 小澤さんの人生、生と死、人間の一生涯をみてきていただけ 人間は生涯情熱を持ち��けて灯ひが消えるその時を迎えるものなのだということを教えていた思いです。 赤と黒の装いの車椅子上の征爾さん、マラーニスニーカーの赤か一際鮮やかでしたよね。「今やらなければダメなんだよ」征爾さんが自分自身に投げかけ続けた言葉です。 同じ亥です後を追いかけて思ひます。



R 6
8.26



小学4年だった小澤さんに父から贈られたピアノ

鍵盤は
サッカーの練習
の後の泥でかびり
汚れてます。
松本に
最高の音楽
たくさんのお勧め
ありハヒウ
(松本市民の声)

夏の右馬先は 鮎と山芋の二が 同時に お出し出来食卓を賑わせておりました。 長男は山芋の大臣がし岩井とは 有り難く頼もう、頑張れ!! 3児の父親!!!